

安全データシート



1. 化学品及び会社情報

法人名 : 国立研究開発法人産業技術総合研究所
住所 : 東京都千代田区霞が関 1-3-1
担当部門 : 計量標準総合センター 計量標準普及センター 標準物質認証管理室
担当者 : 認証標準物質担当
電話番号 : 029-861-4059 ファックス番号 : 029-861-4009
緊急連絡電話番号 : 同上

作成日 : 2011年 4月 25日

改正日 : 2020年 1月 31日

整理番号 : 5009001

化学品の名称(製品名) : 認証標準物質 NMIJ RM 5009-a ポリスチレン 8500
(Polystyrene 8500)

推奨用途及び使用上の制限 : 本標準物質は、単分散のポリスチレンであり、主に高分子の分子量分布測定の精度管理、及び装置の校正と妥当性確認に用いられる。試験・研究用以外には使用しないこと。
本標準物質は、標準物質（日本産業規格（JIS）Q0030に定められるもの）である。

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 該当なし

GHSラベル要素 : 該当なし

注意喚起語 : -

危険有害性情報 : -

その他の有害性情報 : 吸入または飲み込んだ場合有害である。

注意書き : [安全対策]
経口摂取は有毒である。

[応急措置]

飲み込んだ場合大量の水を飲ませ吐かせる。医師の診断を受ける。

[保管]

直射日光の当たらない密封された状態で遮光し、室温の清浄な場所に保存する。

[廃棄]

都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

上記で記載が無い危険有害性は分類対象外または分類できない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 単一製品

化学名又は一般名	: ポリスチレン
別名	: スチレン重合体
化学特性	: (C ₈ H ₈) _i ; (i は重合度)
分子量	: 特定できない
CAS 番号	: 9003-53-6
含有量	: 99.9 %以上
官報公示整理番号(化審法)	: 6-120
官報公示整理番号(安衛法)	: 公表

4. 応急措置

吸入した場合	: 新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、医師の手当を受ける。体を毛布などでおおい、保温して安静を保つ。
皮膚に付着した場合	: 清浄な水で十分に洗い流す。汚染された衣服や靴等は脱がせ、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	: 清浄な水で十分に洗い流す。医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 水でよく口の中を洗浄する。意識のない場合は何も与えない。医師に連絡する。
応急処置をする者の保護	: 個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤	: 水噴霧、二酸化炭素、ドライケミカル粉、アルコール泡。
火災時の特有危険有害性	: 一般的な環境下では、着火または引火の危険性はない。燃焼ガスには一酸化炭素やNO _x 、CNなどが含まれるので、可能な限り風上から消火を行い、吸入しないようにする。
特有の消火方法	: 火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。
消火を行う者の保護	: 防護衣、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器、ゴム長靴

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 皮膚、眼および個人の衣服の汚染を防止するため、適切な保護具を着用する。
保護具及び緊急時措置	: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入したりしないようにする。
環境に対する注意事項	: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収、中和	: -
二次災害の防止策	: -

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- | | | |
|-----------|---|--|
| 技術的対策 | : | 眼、皮膚、衣服への接触を避ける。強酸化剤との接触を避ける。 |
| 局所排気・全体換気 | : | |
| 安全取扱注意事項 | : | 作業中は飲食、喫煙をしない
直接手で触らないようにする
取扱い後、十分に手を洗淨する
みだりに粉塵や蒸気を発生させない |

保管

- | | | |
|-----------|---|----------------------------|
| 適切な保管条件 | : | 密封された状態で遮光し、室温の清浄な場所に保存する。 |
| 安全な容器包装材料 | : | ガラス |

※標準物質としての適切な保管条件、使用に関する注意事項については、認証書を参照のこと。

8. 暴露防止及び保護措置

安全管理上の留意事項

設定されていない

許容濃度（ポリスチレン）

設定されていない

設備対策

◇貯蔵上の注意

- ・密封された状態で遮光し、室温の清浄な場所に保存する。
- ・粉塵が発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。

保護具

- ・保護マスク、保護手袋、保護眼鏡、側板付き保護眼鏡（必要によりゴーグル型）、保護衣、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

- | | | |
|--------------------------------|---|-------|
| ・外観 | : | 粉末 |
| ・色 | : | 白色 |
| ・臭い | : | データなし |
| ・pH | : | データなし |
| ・融点 | : | データなし |
| ・沸点 | : | データなし |
| ・引火点 | : | データなし |
| ・爆発範囲 | : | データなし |
| ・蒸気圧 | : | データなし |
| ・相対蒸気密度（空気 = 1） | : | データなし |
| ・比重又は嵩比重 | : | データなし |
| ・溶解度 | : | データなし |
| ・n-オクタノール／
水分分配係数（log Po/w） | : | データなし |

- ・自然発火温度 : データなし
- ・分解温度 : データなし
- ・燃焼性 : データなし

10. 安定性及び反応性

◇安定性

- ・酸、アルカリに対して安定であるが油類に対する耐油性は弱い。

◇反応性

- ・300℃以上に加熱すると分解し、スチレンなどの有毒なフェームを生じる。

◇危険有害反応性

- ・データなし

◇避けるべき条件

- ・日光、熱

◇混触危険物質

- ・データなし

◇危険有害な分解生成物

- ・一酸化炭素

11. 有害性情報

データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

- ・データなし

分解性・濃縮性

- ・微生物等による分解性はない。

生体蓄積性

- ・魚介類の体内において、濃縮性または蓄積性がない、あるいは低いと判断される物質である。

土壌中への移動性

- ・データなし

オゾン層への有害性

- ・データなし

13. 廃棄上の注意

- ・都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国連番号 : 該当なし

国連分類 : -

品名 : -

容器等級	: -
ICAO/IATA	: 該当なし
海洋汚染物質	: 該当なし
注意事項	: 直射日光を避け、落下、転倒等による漏洩及び火気に十分注意し、慎重に運搬する。

15. 適用法令

適用法令なし

16. その他の情報

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を目的としており、取扱い上のいかなる保証をなすものではありません。
